

予算特別委員会総務文教分科会

R7.3.13 (木) 13:20～

R7.3.14 (金) 10:00～

R7.3.17 (月) 10:00～

R7.3.18 (火) 10:00～

R7.3.19 (水) 市長質疑終了後

R7.3.21 (金) 13:00～

場 所 : 全員協議会室

1 開 会

【事務局日程説明】

2 議案審査

(1) 令和7年度亀岡市一般会計予算(第1号議案所管分)

(2) 令和7年度亀岡市曾我部山林事業特別会計予算(第7号議案)

(3) 令和7年度各財産区特別会計予算(第11号議案～第40号議案)

3 市長質疑項目の確認

4 討論～分科会採決

5 委員長報告の確認

6 その他

令和7年3月議会 予算特別委員会総務文教分科会 審査日程案

令和7年3月13日（木） 日程

予定時間	議案番号	会計名等	出席者	備考
AM中学校卒業式のため順次繰り下げ				
13:00～		全体会 1. 市長あいさつ	市長等	
13:20～		一般会計（議会事務局所管分）	議会事務局	
13:45～		一般会計（会計管理室所管分）	会計管理室	
14:20～		曾我部山林事業特別会計	//	
		各財産区特別会計	//	
14:50～		一般会計（市長公室所管分）	市長公室	
16:10～		一般会計（政策企画部所管分）	政策企画部	

令和7年3月14日（金） 日程

予定時間	議案番号	会計名等	理事者	備考
10:00～		一般会計（生涯学習部所管分）	生涯学習部	
昼休憩				
13:00～		一般会計（総務部・監査委員事務局所管分）	総務部・ 監査委員事務局	

令和7年3月17日（月） 日程

予定時間	議案番号	会計名等	理事者	備考
10:00～		一般会計（教育部所管分） （教育費：幼稚園費まで）	教育部	
昼休憩				
13:00～		一般会計（教育部所管分） （教育費：社会教育費から）	教育部	
15:00～		（市長質疑項目の整理）（現地視察検討）	—	

令和7年3月18日（火） 日程

予定時間	内容	理事者	備考
10:00～	分科会（市長質疑項目の確認）	—	
10:30～	全体会 1. 市長質疑項目の報告・決定 2. 現地調査の検討・決定	—	
13:00～	現地視察		
15:00～	（市長質疑項目の送付）	—	

令和7年3月19日（水） 日程

予定時間	内容	理事者	備考
13:00～	全体会 1. 市長質疑	市長等	
上記終了後	分科会（委員間討議、討論、採決）	—	

令和7年3月21日（金） 日程

予定時間	内容	理事者	備考
AM小学校卒業式のため順次繰り下げ			
13:00～	分科会（委員長報告確認）	—	
PM	全体会 1. 各分科会委員長報告（質疑） 2. 委員間討議 ～会派会議～ 3. 討論～採決等	—	

令和7年3月
予算特別委員会
総務文教分科会

【生涯学習部】

資料

・令和7年度隣保館事業・児童館事業計画

亀岡市（R7年度）（当初予算時）

◎ 文化センター運営経費

◆報酬

会計年度任用職員報酬	@215,408×12カ月×2人, @207,600×12カ月	7,660,992
	割増報酬	740,623
	夜間管理業務	198,387
	小計	8,601,000

◆職員手当等

会計年度任用職員期末手当	@990,876×2人, @954,960×1人	2,936,712
	小計	2,937,000

◆報償費

相談員報償金	@5,000×2人×76回	760,000
運営委員会報償品	4委員会 @5,000×29人	145,000
	小計	905,000

◆旅費

普通旅費		77,000
	小計	77,000

◆需用費

消耗品費		797,000
燃料費		721,000
食糧費		11,000
印刷製本費		54,000
光熱水費		9,241,000
修繕料		215,000
医薬材料費		4,000
	小計	11,043,000

◆役務費

通信運搬費		378,000
保守点検手数料		344,000
火災保険料		92,000
	小計	814,000

◆委託料

施設管理等業務委託料		9,519,000
その他業務委託料		224,000
保守業務委託料		3,430,000
	小計	13,173,000

◆使用料及び賃借料

NHK受信料		22,000
機械器具借上料（AED他）		111,000
その他借上料（玄関マット他）		164,000
	小計	297,000

◆負担金補助及び交付金

出席負担金	研修会受講料等	52,000
京都府隣保館連絡協議会分担金		135,000
	小計	187,000

合計 38,034,000

亀 岡 市 (R7年度) (当初予算時)

◎ 隣保館事業

地域交流活性化支援事業(府補助金)

◆地域力活用事業

地域住民の自主的な地域力の育成・活用を通じて「まちづくり」など地域の交流と活性化を進めることを目的とする事業

館名	事業名	回数	備考	事業費
人権福祉センター	人権福祉フェスティバル	年1回	活動発表等	311,000
	文化・芸術鑑賞会	年2回	七夕でナイト・つながろうデイ	187,000
馬路文化センター	文化祭	年1回	活動発表等	138,000
東部文化センター	東部センターまつり	年2回	活動発表等	135,000
保津文化センター	保津ふるさと文化祭	年1回	活動発表等	280,000

小計 1,051,000

◆地域交流事業

隣保館等における文化・スポーツ活動及び児童を対象にした各種取組を通じて交流と相互理解を深めることを目的とする事業

館名	事業名	回数	備考	事業費
人権福祉センター	手芸・園芸教室	年10回		130,000
	パソコン教室	年3回		95,000
馬路文化センター	陶芸教室	年1回		63,000
	花づくり教室	年2回		64,000
	パソコン教室	年10回		153,000
東部文化センター	パソコンよろず相談室	年10回	高齢者中心パソコン教室	112,000

小計 617,000

◆課題対応支援事業

高齢者等を対象にした各種取組を通じて「福祉」など多様化する課題やニーズに対応していくことを目的とする事業

館名	事業名	回数	備考	事業費
人権福祉センター	高齢者いきいき講座	年1回	健康教室等	16,000
	ふれあい人権講座	年2回		99,000
馬路文化センター	川東ふれあい講座	年13回	平和・人権学習等	194,000
東部文化センター	東部子ども広場	年10回	小学生対象	132,000
	東部ふれあい人権講座	年2回		78,000
	東部ふれあいサロン	年21回	高齢者中心	255,000
	健康講座	年18回	高齢者中心	213,000
	リフレッシュヨガ教室	年4回		48,000

小計 1,035,000

合計 2,703,000

亀 岡 市 (R7年度) (当初予算時)

人権問題啓発事業(府補助金)

人権問題に対する正しい理解と認識を深めるために、人権問題に関する講演会及び
研修会、啓発資料の作成等を行う事業

館名	事業名	回数
人権福祉センター	人権学習会	年1回
馬路文化センター	人権啓発講演会	年1回
保津文化センター	人権問題啓発講演会	年1回

事業費
120,000
115,000
110,000

合計	345,000
----	---------

135000

交流促進講座開催事業(府補助金(国負担分もあり))

地域の実情に即したテーマを設定するなどして、創意工夫のある講座を継続して開催し、
地域住民相互の理解と交流を促進する事業

館名	事業名	回数
保津文化センター	パソコン講座	年20回

事業費
342,000

合計	342,000
----	---------

休日等開館事業(府補助金(国負担分もあり))

土曜日、日曜日、祝日に開館(月2回以上)して、クラブ活動などの地域交流活動
を実施し、効果的な住民交流を図る事業

館名	事業名	回数
人権福祉センター	ひだまりサロン	年42回
保津文化センター	土曜囲碁・将棋サロン	年30回

事業費
248,000
128,000

合計	376,000
----	---------

隣保館デイサービス事業(府補助金(国負担分もあり))

障害者及び高齢者などの福祉の増進を図るために地域のニーズに基づき、日常生活訓練
社会適応訓練、給食サービス、スポーツレクリエーションなどを実施する事業

館名	事業名	回数
人権福祉センター	日常生活訓練教室(体操教室)他	年99回
保津文化センター	いきいきサロン他	年37回

事業費
1,920,000
384,000

合計	2,304,000
----	-----------

相談機能強化事業(府補助金(国負担分もあり))

長期的、継続的な支援を必要とする者に対して、総合的に相談援助を行う事業

館名	事業名	回数
人権福祉センター	支援方策検討会及び支援活動	年56回

事業費
600,000

合計	600,000
----	---------

亀 岡 市（R7年度）（当初予算時）

◎ 児童館事業

地域交流活性化支援事業（府補助金）

◆地域力活用事業

地域住民の自主的な地域力の育成・活用を通じて「まちづくり」など地域の交流と活性化を進めることを目的とする事業

館名	事業名	回数	備考	事業費
東部児童館	親と子のセカンドハウスほっとホット	年302回	子育て支援(1日2回×151日)	896,000
犬甘野児童館	いきいき夏まつり	年1回	活動発表等	127,000
	児童館文化祭	年2回	活動発表等	51,000
小計				135,000

◆地域交流事業

文化・スポーツ活動及び児童を対象にした各種取組を通じて交流と相互理解を深めることを目的とする事業

館名	事業名	回数	備考	事業費
天川児童館	親と子ののびのび子育てサロン	年11回	お菓子作り、絵本の読み聞かせ等	166,000
	のびのび講座	年1回	親子体験教室	16,000
	習字教室	年24回	習字	233,000
	レクリエーション教室	年24回	スポーツ、集団遊び等	127,000
	かめおかキッズクラブ	年24回	集団遊び、工作教室等	220,000
	管外交流会	年1回	管外学習	193,000
馬路児童館	子どもアトリエ教室	年2回	工作	50,000
	あそびの学校	年5回	読み聞かせ、料理体験等	78,000
	学童クラブ	年6回	大学生との遊び	60,000
東部児童館	子ども体験交流講座	年2回	陶芸	39,000
	東部親子ののびのび講座	年2回	リトミック教室等	29,000
保津児童館	あそびの学校 楽ICHI	年20回	集団遊び、工作教室等	141,000
犬甘野児童館	地域カラオケ交流教室	年8回		61,000
	いきいき交流教室	年4回	創作活動等	40,000
	子どもクラブ	年7回	工作教室等	72,000
	ゴロンとひろば	年3回	手遊び、読み聞かせ等	27,000
小計				1,552,000
合計				1,687,000

人権問題啓発事業（府補助金）

人権問題に対する府民の正しい理解と認識を深めるために、人権問題に関する講演会及び研修会、啓発資料の作成等を行う事業

館名	事業名	回数	備考	事業費
犬甘野児童館	市民人権研修会	年1回		40,000
合計				40,000

令和7年度亀岡市総合防災訓練

基 本 方 針

1 目的

亀岡市では、市及び各防災機関が一体となり、市民と連携して災害発生時の応急対策を確認し、防災計画等の継続的な改善を図るため、隔年で総合防災訓練を実施している。

総合防災訓練では、災害時の各機関における組織体制の確認、相互連携及び地域における災害対応訓練を計画的に実施し、市民の防災・減災に関する意識を高めることを目的としている。

令和6年は、「能登半島地震」の発生をはじめ「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）」が発表されるなど大規模な災害を身近に感じる事象が多く発生し、本市においても大規模な災害に備える必要がある。

近年は、気候変動等の影響により、自然災害が多発・激甚化する傾向にあり、市民一人ひとりの適切な判断や防災・減災に向けた意識の一層の向上が求められる。

令和7年度亀岡市総合防災訓練は、訓練に参加する多様な主体がそれぞれの役割を自覚し、能動的に適切な対策・行動をとることを目的に各会場において訓練を実施する。

2 訓練の主眼

- (1)参加者が自らの役割を再確認し、災害時の対応力を育む訓練
- (2)各機関・団体の連携強化を図り、日頃の実践の成果が発揮できる訓練
- (3)市民が「自ら何をすべきか」を考え実践する機会となし、災害に強いまちを目指す訓練

3 主 催 亀岡市防災会議

4 日 時 令和7年 9 月6日(土)

午前 6 時 30 分から正午まで

5 会 場 主会場：保津橋桂川左岸河川敷

※ 主会場での訓練は午前 10 時から正午まで

その他：各地域拠点会場

6 訓練項目

- (1)亀岡市災害対策本部設置運用訓練
- (2)地域拠点訓練
- (3)現地想定訓練
 - ア 風水害対応訓練
 - イ 土砂災害対応訓練
 - ウ 地震対応訓練

(案)

亀岡市制70周年記念事業

第1回国際安全都市アジア市民大会 in 京都・亀岡

第11回アジア地域セーフコミュニティ会議

【メインテーマ】 (仮)「防災から事前予防を考える」
～オーナーシップによる安全対策～

- 1 開催日時 令和7年8月2日(土) 午前10時
※8月1日、3日はトラベリングセミナーを実施予定
- 2 開催場所 ガレリアかめおか(コンベンションホール、大広間ほか)
- 3 主 催 第1回国際安全都市アジア市民大会 in 京都・亀岡実行委員会
- 4 実行委員会委員 亀岡市セーフコミュニティ推進協議会から選出
- 5 後援(予定) 京都府、京都府亀岡警察署、京都中部広域消防組合、亀岡市消防団、
亀岡市自治会連合会、京都新聞、NHK 京都放送局
- 6 参加対象者 セーフコミュニティ推進自治体及び一般市民 約300名
※アジア圏の国外からの参加約50名予定
- 7 趣 旨 本市では、セーフコミュニティを「国際安全都市」という表現で一般市民にわかりやすく伝えとともに、2006年以降の取組成果を国内外に一層広めるため、「国際安全都市」を冠したアジア大会を初めて開催します。
大会では、アジア地域を中心にセーフコミュニティを推進している自治体や市民などが集まって情報交換を行い、各自が実施している安全施策に関する理解を深め、ネットワークの強化・拡大を図ります。
特に近年は、地球温暖化などの影響により全世界において災害リスクが高まっており、防災・減災対策を通じて様々なハイリスクへの事前予防に視点を当てるとともに、「自分達のまちは自分達で守る」というオーナーシップの精神に基づき、日頃からのフェーズフリーによる安全対策を考えます。
また、市制70周年にあわせ、「住み続けたいまち」「誰もが安心して暮らし続けるまち」の実現に向け、市民が主体となった安全安心に関するイベントを開催し、市民全体で活気に満ちた地域づくりについて考えるシンポジウムとします。

8 全体スケジュール

(1)市民主体型の安全安心イベント(10:00～12:00) 調整中

防災・防犯・交通等関係団体の啓発・体験ブースの設置や防災車両等の展示
分科会の実施

(2)開会式(13:30～13:50) 調整中

- ・オープニングムービー
- ・開会セレモニー
- ・開会宣言

(3)基調講演(14:00～15:15) 調整中

- ①講師:防災庁設置準備室
テーマ:(仮)「事前防災の必要性について」
- ②未定

(4)事例発表(15:25～16:10) 調整中

各市から防災・減災に関する取り組み、事例発表をする

- ①亀岡市自治防災課長:(仮)「フェーズ・フリーから防災対策を考える」など
- ②未定
- ③未定

(5)パネルディスカッション(16:10～16:50) 調整中

事例の内容を踏まえ意見交換を行う

- ・コーディネーター、パネリスト:SC 公認認証審査員、海外認証自治体など

(6)閉会式(16:55～17:00)